

# 付帯調査（自由意見）

（令和4年3月調査）

景況調査票の自由意見欄に239企業から貴重なご意見をいただきました。ご多用中にもかかわらずご記入をいただき感謝申し上げます。

図表1 最近の状況や関心事

分類項目	回答数※
1. 経済・景気動向	117
2. 業界の動向	50
3. 顧客・得意先	45
4. 為替	15
5. 金融・資金繰り	34
6. 売上・収益	77
7. 物価変動	54
8. 消費税	19
9. 人材の確保・育成	40
10. その他	55

※複数回答

特徴的なご意見を以下に掲載いたします。なお、掲載にあたり若干の加筆・修正を加えています。

## 1. 経済・景気動向について

- ロシアがウクライナに侵攻したことによる景気動向と物価変動が気になる。  
(製本・印刷物加工製造業)
- 半導体不足による部品欠品で製品が組み立てられず、客先希望の納期に間に合わせられない。中には1年以上待っている部品もある。特に輸入品の欠品が多い。  
(事務・サービス機器製造業)

- ウクライナ情勢の影響は新型コロナウイルス感染症よりも大きく業況に関係してきていると感じる。  
(計量・測定・分析器製造業)
- ロシア、ウクライナ間の戦争で中国向け輸出の動向がどうなっていくかが不透明である。この影響で原油高から各種コストも上がっていくことが確実であるため、より一層厳しさが増していくと思われる。  
(食肉卸売業)
- 新型コロナウイルス感染症はなんとか対応してきたが、ウクライナ問題が浮上し、先行きが不透明。  
(その他化学製品卸売業)
- 半導体不足が慢性化する中で、ウクライナへのロシアの侵攻により更に物資や材料部品の供給が難しくなり、仕事を受注しても機器類を納品できない状況の一手前まできている。  
(事務用機器他賃貸業)

## 2. 業界の動向について

- 問屋、デパートなどでの催事が開かれないことにより受注が減少。  
(繊維工業製造業)
- 大手企業の生産が止まっているため注文がない。住宅関連は完全に止まっており、職人の仕事がない。  
(建設用金属製品製造業)
- 問屋の流通が滞っており、在庫を通常の1.5～2倍にしておかないと品切れが発生するため、在庫の積み増しが足かせになっている。  
(医薬品小売業)
- 終息しない新型コロナウイルス感染症の影響は取引先であるアパレル業界、百貨店業界に更なる打撃を与え、撤退、人員削減を半年単位で行っている状況。業界全体が元に戻ることはないと確信し、新たな市場開拓が迫られている。  
(労働者派遣業)

## 3. 顧客・得意先について

- 得意先の半導体等部品調達状況により売上が急変している。2か月前の内示情報に比べて実際の注文数が半分以下という状況が半年以上続いており、その分は在庫となっている。  
(金属素形材製品製造業)
- 良いニュースがなく、お客様の“購買欲低下”で客数も伸びず、密を避けるため人に会わないことからギフトも動かず苦戦している。  
(茶・のり・乾物小売業)
- イベントの中止や無観客等の影響からスポンサーの売上が激減し、広告、宣伝費が削られているため、広告業界は大不況の感がある。  
(広告・ディスプレイ業)

- 未だ時短対策によりお客様の動きがない。営業時間の難しさで、この3年間大変な時代になっている。  
(酒場・ビアホール)

#### 4. 為替について

- 今回の海外事情は為替に影響が出るため、100%輸入に頼っている当社は経営が不安定になる。  
(医薬品卸売業)

#### 5. 金融・資金繰りについて

- 部品・製品の入荷が滞りはじめており、仕入先に在庫がある時に多量に発注するため、資金をねかす時間が長くなる。このような資金調達に向けた融資があると助かる。  
(自動車小売業)
- 売上・収益が落ちると資金繰りが苦しくなり、消費税納付にもことを欠く。  
(出版業)
- 景気が安定していないため、資金繰りをしようにも先行きのことを考えると安易に借りられない。新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者が複数出て、繁忙期に仕事が進まず、頭をかかえる。業界の冷え込みがひどく先行きも見えずいつまでやれるか、自信がない。新型コロナウイルス感染症の収束を願うのみ。  
(デザイン業)
- 変動金利で借入れをしているため、ウクライナ侵攻の影響も含めて、銀行の借入金利の上昇が気になる。  
(事務用機器他賃貸業)
- 新型コロナウイルス感染症対策を徹底して営業しているが、会員数の減少、全イベントの中止が経営を圧迫しており、銀行から借入れをして営業している。  
(スポーツ施設提供業)

#### 6. 売上・収益について

- 原料高が長く続き下がる見通しが無い。値上げを客先に話しているが、すべて受け入れてもらえず粗利がほとんどない。今後の原料高の下落を願う。  
(がん具・事務用品製造業)
- サービス産業への販売が多いため、まん延防止措置が影響し、販売がよくない。  
(その他化学製品卸売業)

- 3月から小麦粉、クリーム類などの材料や運賃等の値上がりがあるが、販売価格をすぐにはあげられないため、収益が減少。  
(菓子・パン小売業)

- ウクライナ戦争による原油高で、自動車の乗り控えを危惧している。駐車場の利用に影響大。  
(駐車場業)

- 国際商品を中心に仕入価格上昇が続き、光熱費も上昇する。しかし、販売価格の値上げは困難で収益が圧迫される一方。  
(機械修理業)

- オミクロン株のため、未だにイベント、コンサートが中止、延期され、売上が戻らない。  
(事務用機器他賃貸業)

#### 7. 物価変動について

- 原材料の値上がりが止まらず製品への価格転嫁に苦勞している。  
(工業用プラスチック製造業)
- ロシアに対する世界の経済制裁が私共にも影響があり驚いている。運送の遅れ、値上がり等予断を許さない状況。12月頃には少し明るさが見えたが、オミクロン株のまん延に伴い、また顧客の動きが悪くなり困っている。ウクライナ情勢の落ち着きとヨーロッパ経済の回復に期待したい。  
(なめし革・革製材料製造業)
- ロシアのウクライナ侵攻に伴う、燃料、材料、食料等の高騰が、従来の諸物値上げ状況に加味され非常に不安。併せて、中国の動向も注目する必要がある。  
(鉄鋼・非鉄金属製造業)
- ガソリン料金の高騰により、運賃が値上がり傾向にある。そのため商品の単価を値上げせざるをえない。  
(木材・他建築材料卸売業)
- ロシアとウクライナの戦争のため、ロシアからの入荷が不安定な要素が加わり、ウッドショックの中、木材価格の高騰がなかなかおさまらない。  
(木材・他建築材料卸売業)
- 原油高による各種値上げが予定される中、さらにウクライナ危機が加わり値上げ、品不足が懸念される。新型コロナウイルス感染症とともに紛争も早く収束して欲しい。  
(各種食料品小売業)

#### 8. 消費税について

- 消費税、福利厚生費がもう少し安ければ、賃金を多く払うことができる。一番の悩み。  
(文房具・事務用品卸売業)

- 新型コロナウイルス感染症だけの影響ではないかもしれないが中小、零細企業にとって事業の継続は限界にきており、縮小及び廃業も視野に入れている。政府には当面の間の消費税の全廃など消費喚起を促す思い切った政策を出して欲しい。  
(文房具・事務用品小売業)

## 9. 人材の確保・育成について

- 協力工場の高齢化や外国人実習生が入国できないため生産力が今までより下がっており、受注があっても生産がままならない。  
(ニット製衣服製造業)
- 高齢の社員の退職に伴い、人手不足が加速。幸い新卒採用を予定しており解消に向けて取り組むものの、同業他社の廃業も新型コロナウイルスの影響で数件でており、ものづくりの地盤沈下が進んでいると感じる。  
(金属被覆・熱処理製造業)
- 求人を出すも、求職者の応募がなく人材の確保ができない。  
(運輸附带サービス業)
- 世間は景気が悪く、雇止めもあると耳にしているが、求人しても全く手応えがない。  
(労働者派遣業)

## 10. その他

- 新型コロナウイルス感染症の影響による、経営の悪化を援助していただける政策の続行をお願いしたい。  
(自動車・同附属品製造業)
- 新型コロナウイルスの感染者が高止まり傾向にある現況から、中小企業においてはwithコロナの柔軟な業務体制確立が重要な課題と認識している。  
(室内装飾品卸売業)
- まだ新型コロナウイルス感染症の影響を経営や事業活動に受けている。月次支援金や事業復活支援金などの給付金に多少助けられている状況だが、今後はどうなるか不安である。  
(雑貨・身の回り品小売業)
- 新型コロナウイルス感染症が流行しはじめて2年程になるが、弊社もやっとテレワークができるように検討をはじめた。しかし高齢の従業員にはハードルが高く、苦戦している。  
(情報処理サービス業)